

2006年7月3日

「環境・社会報告書 2006」発行のお知らせ オリジナルキャラクター「きこりん」が住友林業のサステナブルな取り組みを紹介

住友林業株式会社（社長：矢野 龍 本社：東京都千代田区丸の内1丁目8番1号）は、環境への取り組みとCSR（企業の社会的責任）活動の成果をまとめた「環境・社会報告書 2006」を発行いたしました。

2001年より発行してきた「環境報告書」を、2004年より「環境・社会報告書」と改称し、企業の社会的責任として、サステナブル（持続可能）な社会の実現に貢献する当社の活動を報告しています。2006年版は、サステナブルな社会の実現へ向けた当社の取り組みを紹介するパートと、社会性報告と環境性報告のパフォーマンスデータ編とに分け、より読みやすく、わかりやすくする工夫をし、内容の充実を図りました。

今回の報告書用紙には、国産材チップを70%以上使用している「間伐ホワイト」を採用しています。また、本報告書の表紙には、昨年誕生した当社オリジナルキャラクターである「きこりん」を採用しデザインしました。今後このキャラクターを通して、「木」の魅力、当社のサステナブルな取り組みを伝えていきます。

<環境・社会報告書2006概要>

- 報告書対象期間 : 2005年4月～2006年3月
- 報告対象 : 住友林業株式会社（一部グループ会社の活動も報告）
- 主な内容

<サステナブルな取り組み紹介>

1. トップ対談

千葉商科大学教授（元NHKキャスター）宮崎緑氏をお招きし、石神井展示場の「My Forest」モデルハウスにて、弊社社長と未来に向けて当社の果たす役割について対談頂きました。

2. 特集「森のちからを、未来のちからに。」

サステナブルな社会の実現に向けた当社の取り組みを、森林～建材～住宅～解体と住宅のライフサイクルに沿って紹介しています。

3. ステークホルダーダイアログ

ステークホルダーとして、環境やCSR、建築の専門家、住宅のお客様をお招きし、当社が社会から期待されている役割、今後の活動の方向性について明らかにしました。

<社会性報告>

企業の社会的責任を推進しようという気運が社会全体に広がってきた中、当社では2005年4月にCSR推進室を設置、住友林業グループ全体としてCSRへ取り組んでいく体制づくりを始めました。企業と社会がともに発展するための取り組みを積極的に推進しています。2006年3月、社員が主体となる「チーム2020」を結成し、信頼され、選択される企業であるために、住友林業グループのあるべき姿、実現したい未来について議論を進めています。

(1) お客様とともに

高い品質の住宅やサービスを提供することはもちろんのこと、長期的な視点でお客様の期待に応えることが重要であるととらえています。そのため、お引渡し後の住まいを60年間サポートする「ロングサポートシステム」や、24時間365日体制でご相談に対応する体制を整えています。

(2) 取引先とともに

独自の「グリーン調達ガイドライン」を設定し、取引先との協力体制を強化しています。また、施工に携わる工務店と共同で、建築現場における労働災害撲滅に向けた取り組みを行っています。

(3) 株主とともに

適切な情報開示は、透明性を高め、経営の質の向上につながるとともに、株主、投資家の皆様とのより良い信頼関係を築くものとして重要であるととらえ、積極的な広報・IR活動に努めています。また、社会的責任投資（SR I）が注目を集める中、当社は、各種SR Iインデックスにも組み入れられています。

(4) 社員とともに

社員を「人財」と考え、「一人一人が高い士気と誇りをもち、自由闊達な企業風土をつくる」という行動指針を実現する為の人財育成に積極的に取り組んでいます。また、多様な社員が活躍できる職場環境づくり、健康で安全に働くことができる職場環境づくりを推進しています。

(5) 社会とともに

山林事業で培った知識と経験を活かし、社会に貢献する活動を実施しています。また、良き企業市民として社会に開かれた企業であるために、企業と社会のコミュニケーションを重視し、学生の社会見学の受入れや、セミナーなどの講演会などを通し、企業姿勢の社会への発信に努めています。

<環境報告>

「環境共生」を経営の座標軸に置き、2005年、環境と経済の両立を目標とした「環境経営中期方針」を策定しました。この方針に従い、自らの事業活動で排出するCO2の削減、お客様のライフスタイルや社会のニーズに合った環境配慮型住宅の提供、国産材の活用等に取り組んでいます。

(1) 事業活動とCO2収支

当社が日本国内に所有する社有林の総面積は40,494haで、この社有林が吸収するCO2の量は2005年度は247,931t-CO2でした。これは、住友林業グループが国内事業活動にともなって排出するCO2量の約2.8倍に相当します。

(2) 木材資源の有効活用（国産材利用）

国産の杉材を格子状に組んだ「クロスパネル」、ヒノキの集成材「スーパー檜」等を住宅部材として積極的に活用し国産材の有効活用に取り組んでいます。2005年秋、住宅事業30周年を集大成して発売した商品「My Forest」の主要構造材における国産材の使用比率を50%以上に高めています。国産材を積極的に利用することにより、国内の山林に管理の手が入り、木々が活性化しCO2の吸収の促進につながります。これらの活動が評価され、「木づかい運動」で農林水産大臣から感謝状を授与されました。

(3) 地球温暖化防止

住宅のLCA（ライフサイクルにおける環境負荷分析）を実施したところ、標準的な家庭では30年間のCO2の排出量は、居住時が65%を占めることがわかりました。「My Forest」では、冷暖房に頼るのではなく、自然の恵みを利用して快適な室内空間を実現する「涼温房」の考え方を導入し、お客様とともに省エネルギーと環境負荷の低減に取り組んでいます。

(4) 資源の有効利用と廃棄物の削減

建設リサイクル法の基本方針より5年早く、解体工事から発生する木くずのリサイクル率95%をクリア（2005年実績97%）いたしました。

(5) 森林資源の保全と森林認証

営業本部木材部でFSC（Forest Stewardship Council 森林管理協議会）のCoC認証を取得しました。これは、加工、流過程における適切な管理に対する認証です。また、北海道、四国、九州、和歌山の計4ヶ所すべての当社社有林を対象に「緑の循環」認証会議（SGEC）の森林認証の今年度中の取得を目指しています。

以上

<お問い合わせ先>

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 佐野・佐藤

TEL：03-3214-2270

<参考資料>

オリジナル・シンボルキャラクター「きこりん」について

<メールでの環境報告書請求>

